

# 西川登町 支え合い かんころの会

|       |        |
|-------|--------|
| 年月    | 令和5年1月 |
| 町内の人口 | 1,582人 |
| 高齢者人口 | 656人   |
| 高齢化率  | 41.46% |

かんころの会は、平成30年3月に設立された「かんころの家」を拠点に活動する第2層協議体。第2層生活支援コーディネーターを中心に、各地区の区長や民生委員等、合計27名で構成。平成30年に町内の全世帯へ「生活支援事業に係るアンケート」を実施（回収率：92%）し、高齢者のニーズを把握。アンケート結果等で把握した課題について具体的な方策を協議体で検討し、ニーズに沿った様々な取組を展開。

厚生労働省が主催する「通いの場全国フェスティバル」において、「新しい通いの場アイデア&実践コンテスト部門」で優秀賞を受賞。

主な取組内容

かんころの家



廃校となった校舎を活用したコミュニティ施設で、通いの場を運営。毎週2回、毎回20名程度が送迎サービスにより集まり、自由な時間を過ごしている（体操、おしゃべり、カラオケ等）。また、高齢者が得意な干し柿作り等を通じて、認知症予防にも取り組んでいる。

※「かんころの家」の由来：校舎建設費の大部分をかんころ（さつまいもや大根の切干）産業の収益で賄われたことにちなんでいる。

助け合い かんころ号 送迎サービス  
(自家用有償旅客運送)



町内を巡回し、利用者を「かんころの家」に送迎。依頼があれば市役所や郵便局等へも送迎。

- ・利用登録者：約50名
- ・実施日：週2回（1回当たり20名程度）
- ・利用料：バス利用料 往復100円＋施設利用料100円
- ・運転手：ボランティア（約20名）

かんころ市場



かんころの家の農産物直売所。地元住民がつくった新鮮な農産物等を、地元へ供給することで、高齢者の生きがいや地産地消に繋がっている。

- ・登録者：128名（町内外含む）
- ・登録品数：約100点
- ・売上金額：月平均6万円（10%は運営費）

移動スーパー



元民生委員が運営する移動スーパーを誘致し、かんころの家を含め移動販売を実施。肉や魚等の生鮮食品も販売。

業者と地区社会福祉協議会が見守り協定を締結し、見守り活動も実施。